

# 省エネ化とセーフティネットで 燃料価格高騰に備えましょう

- ✓ 国と農業者で積立てを行い、燃料価格高騰時に補填金をお支払いします  
(自身の積立金の2倍を限度に補填)
- ✓ 補填に使用されなかった皆様の積立金は、事業終了後に還付されます  
(掛け捨てではありません)

## ① 申込期限 (県協議会 7月26日(金)必着)

対象期間開始**2か月前**までに、県協議会を経由して、施設園芸協会への資料提出が必要です。県協議会へは、余裕をもってお申し込みください。

## ② 加入要件

- 施設園芸農家**3戸以上**※又は農業従事者

**5名以上**で構成する農業者団体等

※同一県内の3戸以上の農家

- 3年間**で燃料使用量を**15%以上削減**

する計画(省エネルギー等推進計画)の作成

- 目標の立て方は、裏面をご覧ください。

## ③ 対象期間

**10月**から**翌6月**までの間から選択

## ④ 対象燃料

施設園芸(野菜、果樹、花きの栽培)の用に供する**A重油**、**灯油**、**LPガス**、**LNG**

## ⑤ 発動基準価格

**A重油** : 88.9円/L    **LPガス** : 115.5円/kg  
**灯油** : 94.2円/L    **LNG** : 58.2円/m<sup>3</sup>

## ⑥ 積立金の計算方法

積立金

= コース別積立単価 × 年間燃料購入予定数量 × 1/2

|     | 積立単価 (円/L)  |             |             |             |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|
|     | 115%<br>コース | 130%<br>コース | 150%<br>コース | 170%<br>コース |
| A重油 | 13.3        | 26.7        | 44.5        | 62.2        |

※灯油、LPガス、LNGについては個別にお尋ねください

(例)

A重油を年間10,000L購入予定の方が130%コースに申し込む場合

$26.7 \times 10,000 \times 1/2 = 133,500$ 円

## ⑦ 補填金の計算方法

補填金 = 補填単価※1 × 当月燃料購入数量 × 70%※2

補填単価は、積立コースにかかわらず、同額です

※1 補填単価 = 各月の指標価格 - 発動基準価格

※2 急騰特例または低温特例(平年比▲1.0℃以上)が発動した場合には、100%に引き上げられます

(参考)A重油を年間10,000L購入予定の方の積立額と積立額残金のシミュレーション A重油価格が113円/Lの場合で試算※1

|            | 特例措置        | 補填割合※2       | 補填金交付上限額(円) | うち生産者積立額(円) | 積立額残金(円)※3 | 備考                                               |
|------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|--------------------------------------------------|
| R5<br>事業年度 | 150%<br>コース | あり           | 100%        | 408,000     | 204,000    | 47,000                                           |
| R6<br>事業年度 | 115%<br>コース | なし(通常)<br>あり | 70%<br>100% | 133,000     | 66,500     | 0<br>積立金不足で316L分対象とならず<br>0<br>積立金不足で956L分対象とならず |
|            | 130%<br>コース | なし(通常)<br>あり | 70%<br>100% | 267,000     | 133,500    | 49,150<br>13,000                                 |
|            | 150%<br>コース | なし(通常)<br>あり | 70%<br>100% | 445,000     | 222,500    | 138,150<br>102,000                               |
|            | 170%<br>コース | なし(通常)<br>あり | 70%<br>100% | 622,000     | 311,000    | 226,650<br>190,500                               |

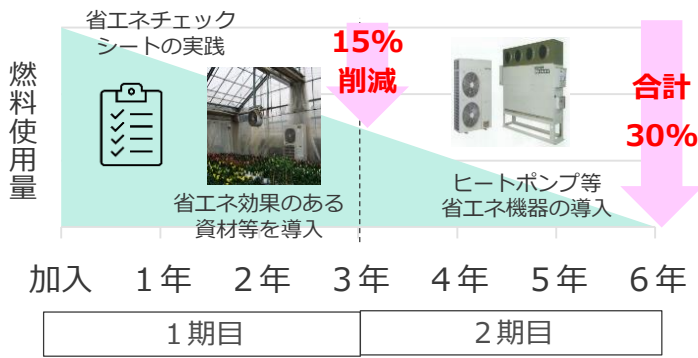
※1 積立金残金は、A重油価格に応じて変動します。

※2 補填割合が100%となるのは急騰特例または低温特例(平年マイナス1.0℃以上)が発動した場合です。低温特例は平年気温を下回った程度に応じて補填割合が変動します。

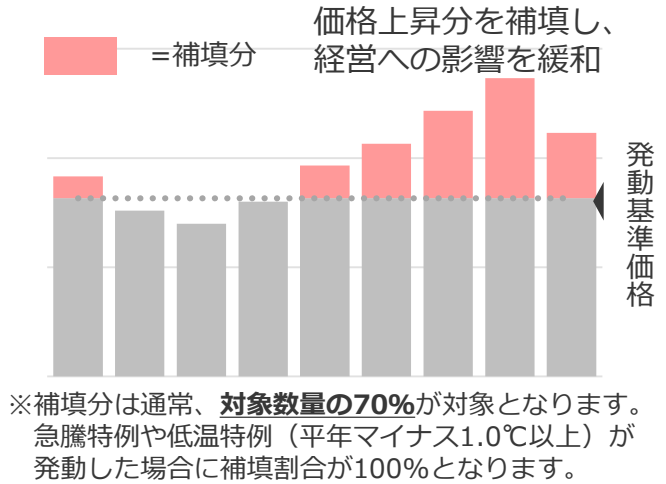
※3 10,000L購入した場合で試算しています。

# 施設園芸セーフティネット構築事業加入に向けたヒント

## 省エネ計画のイメージ



## セーフティネットの仕組み



## 申請手続

申請には、右記の書類が必要です。地域によって必要な書類が異なる場合がありますので、都道府県協議会にご確認下さい。

※ 7年分の書類がない場合でも加入可能な場合もありますので、ご相談下さい。

### <初めて加入する方>

- 省エネチェックシートの実践で燃料使用量**10%減**とみなせます。チェックシート以外で**5%減**を目指しましょう。

### <継続加入の方>

- 暖房機排気ガスから、CO<sub>2</sub>を回収・利用することにより生産性が向上し、単位生産量あたりの省エネ化も可能です。
- トータル30%の削減を達成した方は、二酸化炭素の排出量低減、環境負荷の低減に着目して、計画を作成してみましょう。

### <対策加入前に省エネに取り組んでいる方>

- 燃料使用量削減の基準となる「現在使用量」は、過去7年中5年の平均値を用いることから、7年以内に省エネに取り組んでいる方は、これまでの取組を加味できます。また、地域の標準的な燃料使用量を「現在使用量」とすることも可能です。
- 7年以上前に省エネ機器等を導入した方は、機器や資材の性能向上も検討してみましょう。

### <支援対象者としての申請に必要な書類>

- 事業実施計画書
- 省エネルギー等対策推進計画

### <事業参加者としての申請に必要な書類>

- 省エネルギー等対策取組計画
- 過去7年分の燃料使用量を確認できる書類



▲省エネチェックシート



▲省エネマニュアル



▲省エネ通知のページQRコード



▲省エネで収益力向上を

## 省エネや生産性向上の取組に活用可能な補助事業

- 産地生産基盤パワーアップ事業 施設園芸エネルギー転換枠等

検索